



株主通信 Vol.21

2012年3月期 2011.4.1~2012.3.31

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467



ネットシェイプ事業



2012年3月期
売上高構成比
47.4%

技術・強み

当社グループは、高精度、高強度が求められる自動車部品を一発のプレスで成形できる精密鍛造金型の開発、生産を行っています。その核となる技術「ネットシェイプ」は、金属素材を削らず、熱も加えずに複雑な形に仕上げる理想の加工技術です。ネットシェイプを導入すれば、材料は切削加工の3分の1にまで削減でき、生産速度は従来の5～10倍まで高まるなど、生産効率が大幅に向上します。

当社は、精密鍛造金型の生産のみならず、その研究開発から設計、さらに精密鍛造部品の製造までをカバーするトータルエンジニアリング力で、省資源・省エネルギーなライン作りに貢献しています。

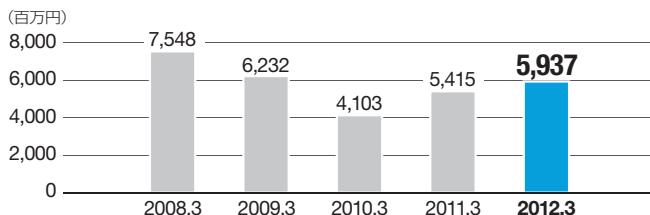
ユーザー

ネットシェイプは、精密な加工と大量生産の両立が求められるエンジン、トランスミッション、駆動関連などの自動車部品製造で活用されています。

また当社金型の多くは自動車関連企業で使われておりますが、その内訳は、特定メーカーに偏ることなく、すべての国内メーカー系列と取引しているほか、海外メーカーとの取引も増加しています。

さらに自社製金型で生産した精密鍛造部品の生産・販売も行っています。タイの子会社では、2012年末からカーエアコン用スクロール鍛造品の量産開始を予定しています。（詳細は10ページをご覧ください）

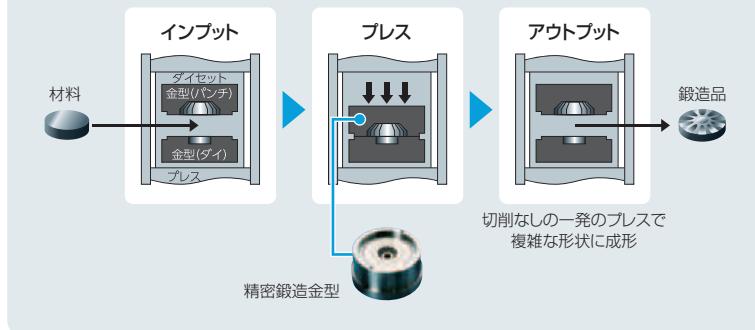
■売上高の推移



ネットシェイプ事業のバリューチェーン



精密鍛造工程



ネットシェイプで成形できる主な自動車部品



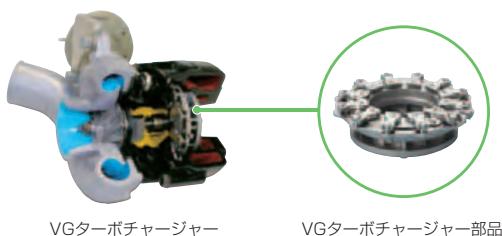


技術・強み

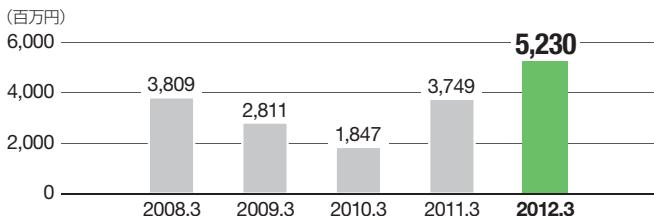
高度な空気量制御が可能なVGターボチャージャーは、NOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)など有害物質排出を削減し、低燃費やスムーズな加速を実現するため、環境規制の厳しい欧州ではディーゼルエンジンに必須のパーツです。当社グループは、国内工場とタイの子会社でこのターボチャージャーの性能向上のカギとなる部品を、独自の組み立て技術により生産しています。

ユーザー

当社グループが提供する部品は、三菱重工業株式会社でVGターボチャージャーに組み込まれ、主に欧州向けの乗用車に搭載されます。ディーゼルエンジンの普及率が高い欧州では、全新型車に新たな排ガス規制が適用されるなど、厳しくなる環境規制に対応するための開発競争が盛んで、当社グループ製部品も貢献しています。



■売上高の推移



技術・強み

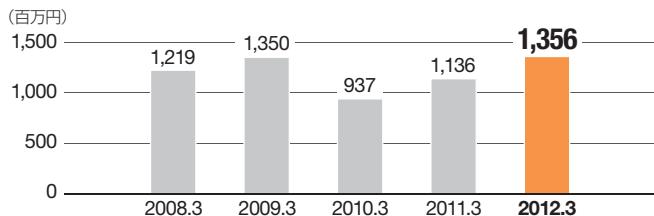
「ろ孔」サイズ・形状が異なる何枚ものステンレス金網を、独自の積層焼結技術により一体構造化したフィルター製品の開発、生産を行っています。ろ孔の形状はミクロン単位の均一さで、理想的なろ孔構造を実現しています。洗浄すれば再利用できる産業用フィルターは、幅広い過精度に対応可能で、機械的強度、耐熱・耐寒性などにも優れた特性を発揮します。当社グループは、より高性能なフィルター開発のための研究に努めています。

ユーザー

石油、ガスなどのエネルギー分野、プラスチックなどの化学分野から繊維・医薬品・食品分野まで幅広い産業で採用されています。厳しい品質基準に基づき高い信頼性を要求されるロケットの燃料ろ過にも使用されるなど、高品質が評価され新たな用途も広がっています。また、フィルターの洗浄施設を拡張し、洗浄・再生サービスの充実を図っていきます。アフターサービスまでトータルに対応できる体制を構築し、既存顧客の満足度向上と新規顧客の開拓につなげます。



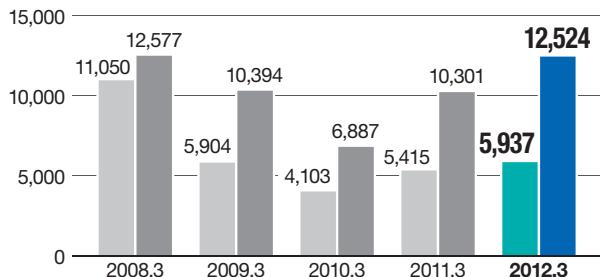
■売上高の推移



■ 単独 ■ 連結

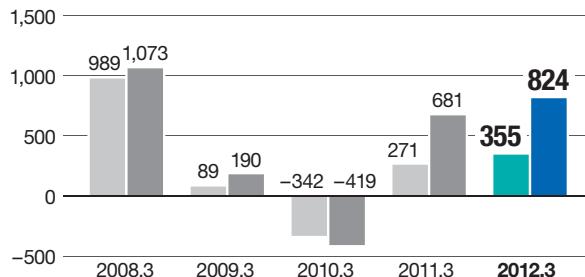
■ 売上高

(百万円)



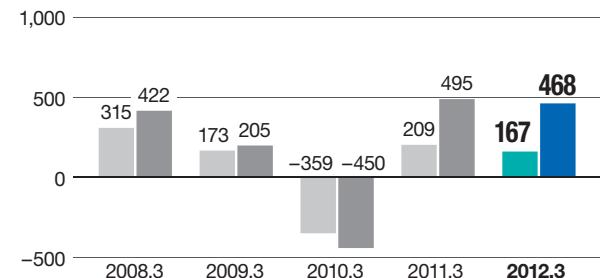
■ 経常利益

(百万円)



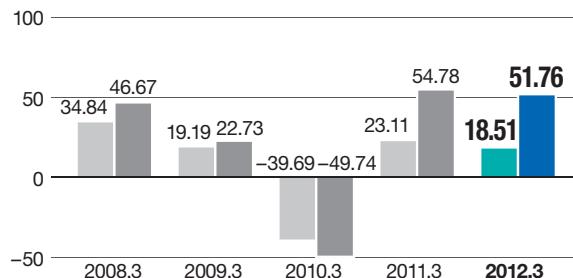
■ 当期純利益

(百万円)



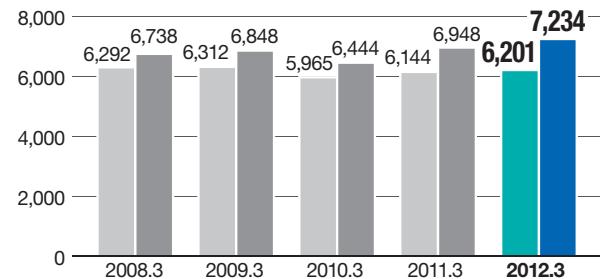
■ 1株当たり当期純利益

(円)



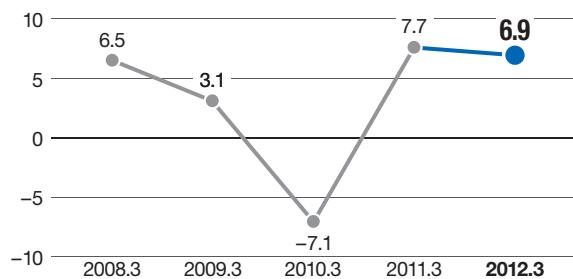
■ 純資産

(百万円)



■ ROE(自己資本利益率)

(%)

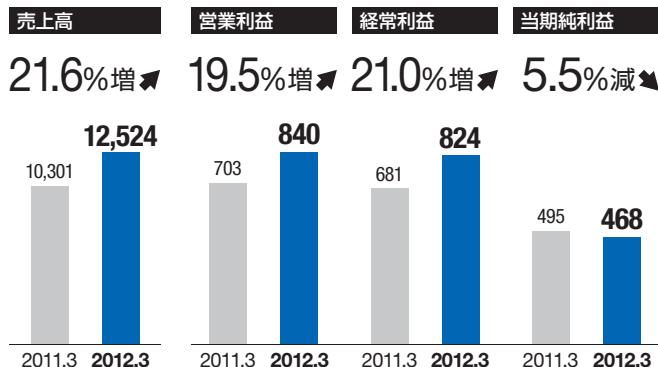


大規模自然災害の影響は受けましたが、 売上は大幅に増加、 次なる成長を目指します。



■ 当期実績(連結)

(百万円)



[見直しに関する注意事項]

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

2012年3月期(2011年4月1日~2012年3月31日。以下、当期)は、東日本大震災とタイの大規模洪水による影響は免れなかったものの、年度後半にかけて主要顧客である自動車業界が急ピッチの回復を遂げたことを受けて、全事業部門で売上を大きく伸ばしました。当期が初年度となる中期経営計画については、タイにおける生産体制の強化など、着実に成果を出しております。リーマンショック以降、当社グループは投資を抑え、守りを固めてきましたが、今後は中期経営計画に基づく、アジア地域を中心とした海外展開など積極的な攻めの姿勢に転じます。自動車業界におけるサプライチェーンの構造的変化や主要マーケットの新興国シフトなどに的確に対応できるよう海外拠点の強化を図り、強靱な企業体質への転換に尽力します。

Q 当期の業績について教えてください。

A 売上は大幅に増加、
経常利益ベースで増収増益となりました。

当期の業績は、連結売上高125億2千4百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益8億4千万円(前年同期比19.5%増)、経常利益8億2千4百万円(前年同期比21.0%増)、当期純

■四半期ごとの売上高・経常利益の推移(連結)

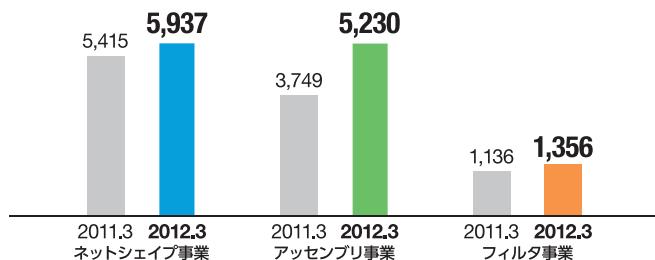


■事業別売上高／経常利益・利益率

(百万円)

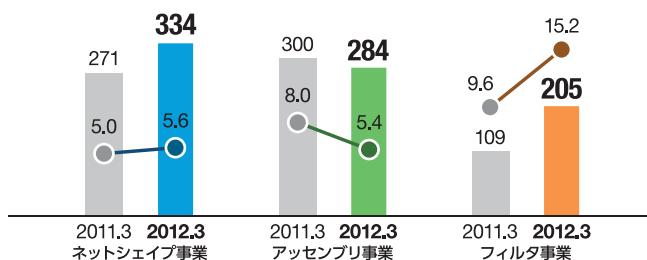
売上高

9.6%増 ▲ 39.5%増 ▲ 19.4%増 ▲



経常利益(百万円) ● ● ● 利益率(%)

経常利益・利益率



利益4億6千8百万円(前年同期比5.5%減)となりました。売上高に関しては、リーマンショック以前の水準まで回復し、経常利益ベースで増収増益を達成しています。

ネットシェイプ事業は、東日本大震災の影響を受けて、金型部門が第1四半期に大きく落ち込みましたが、第2四半期以降は回復に転じています。年度後半にかけては、各自動車メーカーが、震災及びタイ洪水による減産から一転して挽回生産に取り組んだため、金型に対する需要が一気に伸びました。これを受けて、ネットシェイプ事業の売上高は、59億3千7百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

アセンブリ事業は、欧州向けVGターボチャージャー部品に対する旺盛な需要に対して、NICHIDAI (THAILAND) LTD. (以下、NDT) の増産などで迅速に対応した結果、売上高を52億3千万円(前年同期比39.5%増)と大幅に伸ばしました。

フィルタ事業は、国内でのフィルター製品に対する安定した需要に加え、THAI SINTERED MESH CO., LTD. (以下、TSM) で

生産する石油掘削用フィルターに対する需要も復調し、売上高は13億5千6百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

利益面に関しては、ネットシェイプ事業とフィルタ事業において、売上高の増加に伴い利益額も伸ばしております。アッセンブリ事業に関しては、為替変動の影響を大きく受けたことに加え、震災やタイ洪水によるサプライチェーンの混乱のため追加費用が発生し、経常利益が減益となりました。これらの結果、連結営業利益、連結経常利益については増益となりましたが、当期純利益に関しては、税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩しなどにより税金費用が増加したことから減益となっております。

Q 次期の業績予想について教えてください。

A 拡大する需要に的確に対応し、増収増益を目指します。

次期の連結業績は、売上高135億円(前年同期比7.8%増)、営業利益10億7千万円(前年同期比27.4%増)、経常利益10億円(前年同期比21.3%増)、当期純利益5億6千万円(前年同期比19.5%増)を見込んでおります。

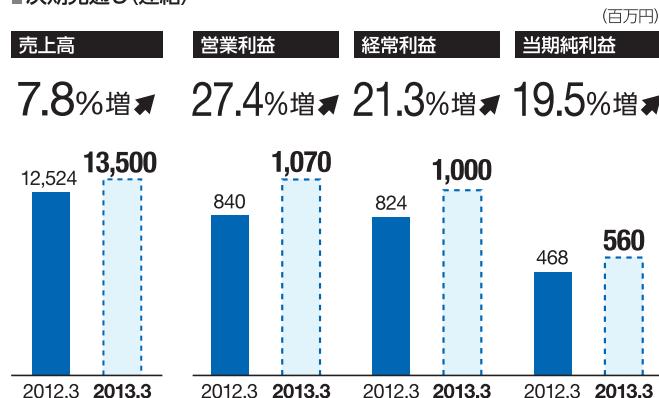
当社の主要顧客業界である国内自動車産業は、エコカー補助金により国内新車販売の堅調な推移が見込まれることに加え、海外市場での販売増加も予想されるなど高水準の生産が続く見通しです。ネットシェイプ事業は、増加する金型需要に的確に対応することで拡販に努め、売上高65億円(前年同期比9.5%増)を予定しております。



アッセンブリ事業は、VGターボチャージャー部品の需要が、引き続き好調を維持すると予想しております。需要に対する安定供給を図るためNDTでは生産能力の増強に取り組み、売上高55億円(前年同期比5.1%増)を予定しております。

フィルタ事業は、新製品、新用途の開拓に努めるとともに、海外生産拠点TSMで生産するフィルター製品のアジア市場向け販売に注力し、売上高15億円(前年同期比10.6%増)を予定しております。

■次期見通し(連結)



Q 中期経営計画の進捗について教えてください。

A 海外展開に力を注ぎ、アジアでの拠点固めに取り組みました。

東日本大震災、タイ洪水と相次いで大規模な自然災害に見舞われた国内自動車業界では、従来のサプライチェーンに潜む課題が浮き彫りとなりました。これを受けてサプライチェーンの見直しが進められており、その一環として海外展開の動きがますます加速するものと予想されます。一方で、以前より活発に取り組まれていた地球温暖化など環境対策に向けた製品の開発・拡販についても、今後はより積極的な展開が予想されます。

こうした顧客業界の動きを織り込んだ上で策定された中期経営計画の方向性に変更はなく、引き続き「海外展開の強化」「技術開発による新市場の開拓」「顧客満足度向上による競争力の強化」の3つを柱に戦略を展開してまいります。

当期に大きな進捗が見られたのが、海外展開の強化です。現在、NDTでは、ネットシェイプ事業におけるスクロール鍛造品の量産開始並びにアセンブリ事業におけるVGターボチャージャー部品の生産能力強化を目的に、工場スペースを拡張しております。当社グループは、アジア地域における戦略的展開を進めるため、NDTを、これら2事業の戦略拠点として積極的に活用する予定です。(海外戦略の詳細は、10～11ページもご覧ください)

その他の施策も着実に推進しており、次期以降の成果に結び付けてまいります。(詳細は右図をご覧ください)

中期経営計画の進捗状況

戦略① 海外展開の強化

ネットシェイプ事業

- NDTでのスクロール鍛造品量産体制を準備
- 金型のアジア生産を視野に入れた戦略を展開

アセンブリ事業

- 素材、部品加工の現地調達を推進
- NDTの工場増築により生産能力を増強

フィルタ事業

- アジア市場でのフィルター製品拡販に注力
- TSMにおけるフィルター生産の多様化

戦略② 技術開発による新市場の開拓

ネットシェイプ事業

- 小型発電用ローター部品の事業化への取り組み
- ステレコン社との提携による金型拡販に着手

アセンブリ事業

- 次世代環境規制ユーロ6への対応を推進
- 試作部門の対応力を強化

フィルタ事業

- オゾン分解フィルターの新規開拓営業を展開
- 洗浄・再生サービスによる新規顧客の開拓

戦略③ 顧客満足度向上による競争力の強化

ネットシェイプ事業

- リードタイム短縮を目指すプロジェクトの推進
- ボトルネック工程改善のための設備投資を実施

アセンブリ事業

- 表面処理加工での加工時間削減に着手
- 塑性加工技術を活かしたコスト削減策を検討

Q 配当について教えてください。

A 当期は、期末配当6円、年間12円、次期は年間16円の配当を予定しております。

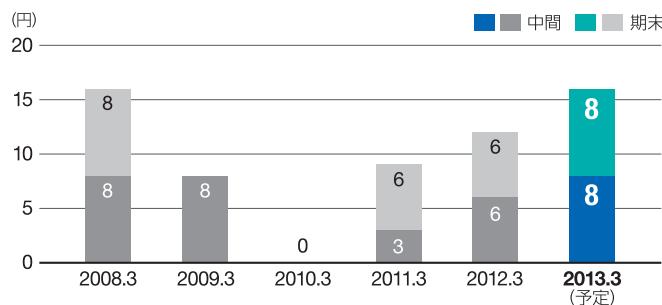
当期は、大規模な自然災害の影響を受けたものの、大幅な増収と経常利益ベースでの増益を確保し、中期経営計画の初年度として、幸先の良いスタートを切ることができました。これを受けて、期末配当につきましては、期初予想どおり6円とし、中間配当実績6円と合わせて1株当たり年間12円としております。

次期については、中期経営計画の各施策を堅実に実行することで各事業とも売上高を伸ばし、連結ベースでの増益を目標としています。目標となる利益水準及び現状の経営環境などを総合的に勘案し、次期の配当は、中間8円、期末8円、あわせて年間16円を予定しております。



顧客業界におけるグローバル化の急速な進展などめぐるしく変化する事業環境に的確に対応し、当社グループは、中期経営計画に基づく戦略を着実に遂行していきます。株主の皆さまには、当社グループの現況をご理解賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

■ 1株当たり配当金



順調に進む海外展開

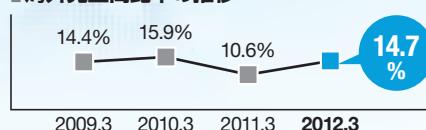
当社グループは、中期経営計画の柱である「海外展開の強化」「技術開発による新市場の開拓」「顧客満足度向上による競争力の強化」の3つの施策に精力的に取り組んでいます。中でも喫緊の課題「海外展開の強化」に関して、着実な成果を出しています。



ネットシェイプ事業

タイにスクロール鍛造品量産工場を新設、2012年末より量産開始

海外売上高比率の推移



当社グループの主要顧客業界である国内自動車産業は、アジアなどの新興国市場を対象とした海外展開を加速させています。精密鍛造金型で成形される自動車部品の製造に関しては、海外進出の動きはこれまで比較的緩やかでした。しかしながら今後は、リーマンショック以降の円高基調や東日本大震災によるサプライチェーンの見直しを受け、安定的かつ安価な供給体制を確立するための海外シフトの加速が予想されます。こうした状況に適応するべく、当社グループは海外での生産体制強化に取り組んでおり、NICHIDAI (THAILAND) LTD.の工場を拡張、2012年末からスクロール鍛造品の量産を開始いたします。これを機に今後、金型生産も視野に海外展開をさらに進めてまいります。

自動車部品メーカーの海外展開のトレンド

従来

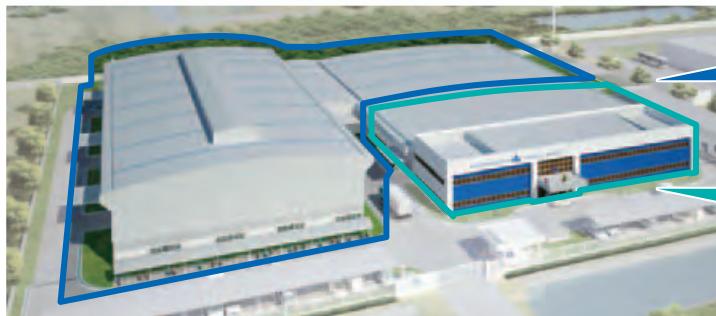
自動車部品製造メーカーは国内を中心に展開

今後

生産拠点の海外シフトが加速

為替変動

東日本大震災によるサプライチェーンの見直し



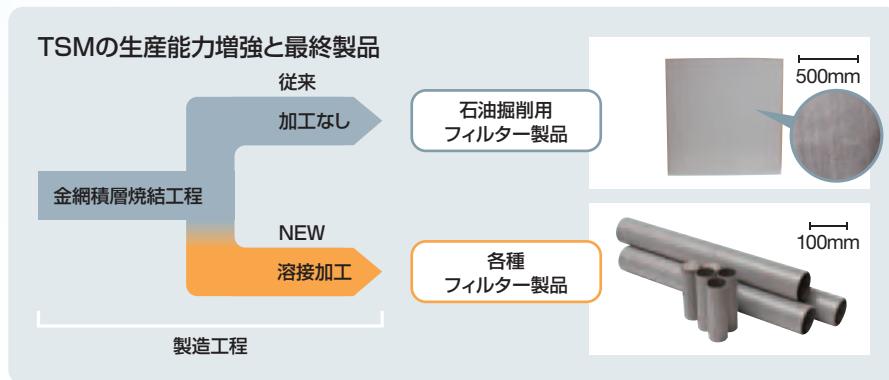
NICHIDAI (THAILAND) LTD. 拡張後の完成予想図



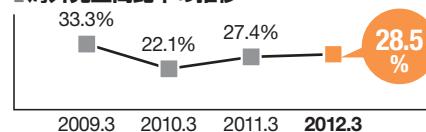
フィルタ事業

THAI SINTERED MESH CO., LTD.の生産能力を強化 多用途対応のフィルタで拡販に注力

国内と同様に、アジア地域においても多用途対応のフィルタに対する需要拡大が見込まれます。これを受けて当社グループは、従来石油掘削用フィルタ製品を生産してきたTHAI SINTERED MESH CO., LTD.(以下、TSM)において、製造工程に溶接加工能力を付加することで、高性能フィルタの製造を開始しました。今後はTSMをアジアの中心拠点とし、アジア地域でのフィルタ製品拡販に向けた営業展開を強化します。



海外売上高比率の推移



アッセンブリ事業

国内・海外拠点の役割分担を明確に、 今後の需要増や規制強化に対応

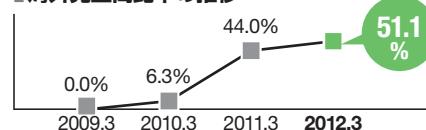
欧州では、環境規制をクリアするクリーンディーゼル車に対する需要が好調を維持するものと予想され、その基幹装置VGターボチャージャーの部品に対しても需要増が見込まれます。こうした状況に対応するため当社グループは、タイを量産拠点の中心とし、素材や部品加工の現地調達に注力しています。今後、規制強化に向けた研究開発及び生産技術開発は国内で取り組み、内外拠点の役割分担を明確に事業の効率化を進めます。



● ニチダイプレジジョン

欧州で2014年に導入予定の次世代環境規制「ユーロ6」に対応する技術開発、次世代新製品の企画開発を推進。

海外売上高比率の推移



● NICHIDAI (THAILAND) LTD.

海外での量産拠点として、工場を拡張するなど生産能力を強化。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科 目	前連結会計年度末 2011年 3月31日現在	当連結会計年度末 2012年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,697	1,852
① 受取手形及び売掛金	3,105	3,762
② たな卸資産	1,563	2,122
その他	181	318
貸倒引当金	△ 4	△ 4
流動資産計	6,543	8,051
固定資産		
有形固定資産	4,931	4,978
無形固定資産	99	149
投資その他の資産	796	617
固定資産計	5,826	5,745
資産合計	12,370	13,797

*百万円未満は切り捨て

Check Point

- ① 受取手形及び売掛金の増加
売上高の増加に伴い、増加しました。
- ② たな卸資産の増加
売上高の増加に伴い、原材料などが増加しました。
- ③ 買掛金の増加
売上高増加に伴う、仕入増加の影響によるものです。
- ④ 社債の減少
1年内償還予定の社債を流動負債に計上しました。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科 目	前連結会計年度末 2011年 3月31日現在	当連結会計年度末 2012年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
③ 買掛金	881	1,582
短期借入金	2,216	1,979
1年内償還予定の社債	—	1,000
未払法人税等	60	136
賞与引当金	132	131
その他	502	501
流動負債計	3,793	5,331
固定負債		
④ 社債	1,000	—
長期借入金	550	1,127
退職給付引当金	33	56
その他	45	47
固定負債計	1,628	1,231
負債合計	5,422	6,562
(純資産の部)		
資本金	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	4,096	4,456
為替換算調整勘定	△ 106	△ 175
その他	7	5
少数株主持分	328	325
純資産合計	6,948	7,234
負債純資産合計	12,370	13,797

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2011年4月1日から 2012年3月31日まで
売上高	10,301	12,524
5 売上原価	8,120	10,122
売上総利益	2,181	2,402
販売費及び一般管理費	1,478	1,562
営業利益	703	840
営業外収益	52	89
営業外費用	74	105
経常利益	681	824
特別利益	0	20
特別損失	64	7
税金等調整前当期純利益	616	838
法人税、住民税及び事業税	62	154
法人税等調整額	△ 3	167
少数株主損益調整前当期純利益	557	516
少数株主利益	61	47
当期純利益	495	468

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2010年4月1日から 2011年3月31日まで	2011年4月1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	514	529
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 358	△ 549
財務活動によるキャッシュ・フロー	129	194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 18
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	283	155
現金及び現金同等物の期首残高	1,060	1,344
現金及び現金同等物の期末残高	1,344	1,500

*百万円未満は切り捨て

Check Point

- 5** 売上原価の増加
アッセンブリ事業の売上高構成比率が高まったため、売上原価の比率が上昇しています。
- 6** 投資活動によるキャッシュ・フローの減少
設備投資額が増加したことによるものです。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
平成23年3月31日残高	1,429	1,192	4,096	△ 1	6,718	8	△ 106	△ 98	328	6,948
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 108		△ 108					△ 108
当期純利益			468		468					468
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 1	△ 69	△ 70	△ 2	△ 73
連結会計年度中の変動額合計	—	—	359	△ 0	359	△ 1	△ 69	△ 70	△ 2	286
平成24年3月31日残高	1,429	1,192	4,456	△ 1	7,078	6	△ 175	△ 169	325	7,234

*百万円未満は切り捨て

■ 国内の主要な事業所 (2012年4月1日現在)

本社

京都府京田辺市薪北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西1-10-20

名古屋営業所

名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区长嶺南1-1-7



本社



宇治田原工場

■ 関連会社 (2012年3月31日現在)

① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

② ニチダイプレジジョン株式会社

京都府京田辺市薪北町田13

③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8 700/882 Moo 5 TB.
Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo5, Tambol Pasak,
Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

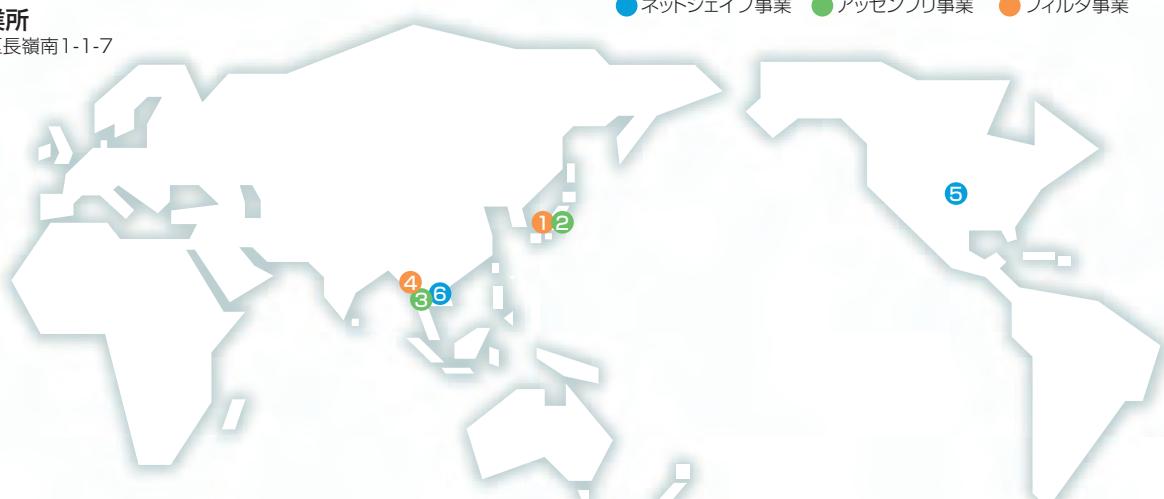
⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Service Center Building Room 206/1 FL.2 700/2 Moo 1,
Tambon Klongtamru, Amphur Muang, Chonburi 20000 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



① ニチダイフィルタ株式会社



② ニチダイプレジジョン株式会社



③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.



④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

■会社概要 (2012年3月31日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市新北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	472名

■役員 (2012年3月31日現在)

代表取締役社長	古屋 元伸	
取締役	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役	島崎 定	部品部ゼネラルマネージャー ニチダイプレジジョン株式会社代表取締役社長 NICHIDAI(THAILAND)LTD. 社長
取締役	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
監査役(常勤)	萩野 雅章	
監査役	刈谷 敏彦	
監査役	溝上 哲也	

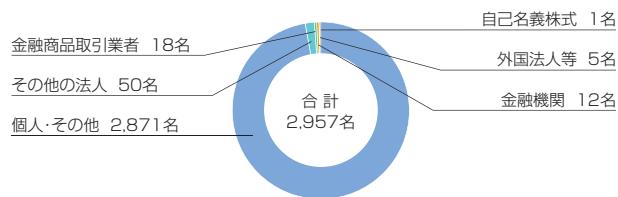
■株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,957名

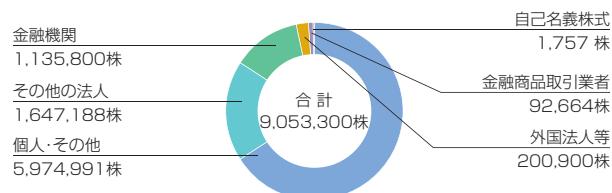
■大株主 (2012年3月31日現在)

株主名	当社への持株状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
ニチダイ従業員持株会	522,344	5.77%
田中克尚	497,688	5.49%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	153,000	1.69%
ビービーエイチ ファイデリティロープライズストックファンド	150,000	1.65%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	120,000	1.32%

■所有者別分布 (2012年3月31日現在)



■所有者別株式数分布 (2012年3月31日現在)



株主メモ

Investor Information

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告
当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)にて
掲載

単元株式数 100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご紹介 <http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



硬式野球部ホームページをリニューアル <http://www.nichidai.jp/baseball/>

2012年4月1日、硬式野球部ホームページをリニューアルしました。最新の活動予定や試合情報をよりわかりやすくお知らせするとともに、月ごとに選手の声もお届けいたします。関心をお持ちの方は、ぜひ一度ご覧ください。



アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。

この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)